

# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄関係/日米協議委員会開催関係

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43728">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43728</a>

(18)

沖16回日米協議委員会

43

10

25



極秘

時 略 平 總第 40188 号

第 1873 号

大宅 至急 普通 L.T.F. 電電係

K. K. K. K.

大 米 北

外務次官 参事官 北米課長

外務省議官 官 局長

米北

昭和 23 年 10 月 7 日

米北 4 号

在 米 下田

臨時代理大使

推名 大 臨時代理大使

在 二二二一

臨時代理大使

件名 沖繩、南洋の日本米協議委員会

東郷局長へ 大河原氏

往電米北才1841号に因り

1. 冒頭往電2の要援助に因り協議委員会につき(1)その後の大蔵省との折衝を通じ、主席選挙前における援助額決定

本信が15日日本米研討委員に渡り

字 濟

漢

4 0104

昭和二十三年十月七日

GB-1

が不可能な見通しとなったこと、<sup>かゆ</sup> 米例子 <sup>毛</sup> ①  
~~協定委員会~~  
~~協定委員会~~ の4の援助決定時

~~不可能な見通し~~ 新南発表 ~~の~~  
① 協定委員会 ~~の~~  
すくとも、~~協定委員会~~ 日本現行の ~~協定委員会~~

は「保険及び社会福祉諸計画」に  
日本政府の財政的支援を約して1710

のうち不可能な場合には、<sup>日</sup> 協定委員

~~協定委員~~ 協定委員 ~~の~~ 協定委員 ~~の~~ 協定委員  
との法 ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~

協定委員 ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~  
結果 (A) ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~

協定委員 ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~

協定委員 ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~

新南発表 ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~

諸計画に ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~ ~~の~~ ~~協定委員~~

か、その交換のためは特に考慮を払う  
 旨を明した。この表現を挿入することにし、  
~~その中に~~  
 在京米国大使館の同意を得た。(目下、

同大使館より米側関係部内の決裁取得  
 中)

~~2. 上記経緯に鑑み、米側在京米国大使  
 館に、米側は、援助に内閣協議委員  
 会を以て10月22日(火)下~~

2. ~~上記経緯より、~~ 援助に内閣協議  
 委員会の選挙前内閣の同意(の→)に  
 及び、米側より、高等弁務官の都合により

本協議委員会を ~~10月22日~~ (選挙関係等)の  
 際、 ~~10月22日~~ (25日予定)に、  
 内閣に、~~10月22日~~ (10月25日)に、  
 旨を望む (10月22日)の旨に、



電信課長  
引

機密表示 (極秘・秘の朱印) <del>機密</del>	符号表示 暗 略 (平)	※ 総第 49147 号
	※ 合第 4261 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 発 43- 10- 23 10- 09
社取	大至急・(至急)・普通・LTF	※ 発電係

(※印欄内は電信課記入)

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長代	主管局部課(室)名 アメリカ局北米課 起案 昭和43年10月23日 起案者 有田 電話番号 672
------------------------------------------------	------------------------------	------------------------------------------------------------

協議先

高瀬 大使 臨時代理大使  
在那霸 岸日政府沖繩事務所長 総領事 代理 三木 大臣 発

電 報 在 大使 臨時代理大使  
総領事 代理 あて

件名 沖繩以南の日米協議委員会第16回会合

1 沖繩以南の日米協議委員会第16回会合は、10月25日 午前11時45分着に在在 日米側 本大臣及中野事務次官、米側 ジョージヤ大使 土常の下に開催され、23日 午前9時着を

写  
濟

23

(昭和四二・七一改正)

GB-



行なった。

2. ~~本~~ 議題は、<sup>(1)</sup> 諮問委員会活動の

1973 年度報告 <sup>(2)</sup> 昭和44年

会計年度 日本政府対沖経援助の1973

(数字その他詳細説明は行外)

米例提案を要領同説明をとりよるが

この案は ~~本~~ <sup>付</sup> 意のたなる。

本苑知是

日米統諮問委員 事務代表

日本政府対沖経援助事務所 事務代表

(3)

機密表示 (極秘・秘の未印) <b>平文</b>	符号表示 暗 略 <b>平</b>	※ 総第 <b>49453</b> 号 <b>49699</b>
	※ 合第 <b>4291</b> 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 発 <b>63-10-25</b>
大至急・ <b>至急</b> ・普通・LTF		※ 発電係

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主管 <b>アメリカ局長</b> <b>参事官</b> <b>北米課長代</b>	主管局部課 (室) 名 <b>アメリカ局北米課</b> 起案 昭和 <b>63</b> 年 10 月 25 日 起案者 <b>折地</b> 電話番号 <b>672</b>
------------------------------------------------	---------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

協議先 M-21

25 102

**吉瀬** 大使 臨時代理大使  
在 **那霸** 岸 **日本駐那沖繩事務所長** あて **三木** 大臣 発  
~~総領事 代理~~

電 報 在 大 使 臨時代理大使  
報 総領事 代理 あて

件名 **沖繩以南の日本協議委員会第16回会合 (新田宛書)**

往電合第 **4261** 号に由り

25日 本府に於いて 沖繩以南の日本協議

委員会第16回会合を 開催し 終了後

別紙合第 **4292** 号及び合第 **4293** 号のとおり

新田宛書を 行なう (関係資料を送致)

本電宛先 **日本駐那沖繩事務所長** 吉瀬 大使 宛  
岸 日本駐那沖繩事務所 宛 (3)

享 濟

(昭和四三・七一改正)

GB-

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

電信課長  
印

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 <b>平</b>	※ 総第 49500 号
<b>平</b>	※ 令第 4292 号	※ 昭和 43 年 10 月 25 日 19 時 46 分
大至急・ <b>至急</b> ・普通・LTF		10.25 発電係

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長代	主管局部課 (室) 名 アメリカ局北米課 起案 昭和 43 年 10 月 25 日 起案者 柳田 電話番号 672
	協議先	

25 103

在 那 覇 其 頼 大 使 臨 時 代 理 大 使  
あ て 三 木 大 臣 發  
岸 日 本 政 府 沖 縄 事 務 代 理 総 領 事

電 報 在 大 使 臨 時 代 理 大 使  
総 領 事 代 理 あ て

件名 沖 縄 心 電 丁 日 本 協 議 委 員 会 第 16 回 会 合  
( 新 内 務 省 )

伝 達 令 第 4291 号 別 巻 1

字 濟

(昭和四二・七一改正)

GB-

沖繩に関する日米協議委員会  
第16回会合に関する共同新  
聞発表

昭和43年10月25日

1. 沖繩に関する日米協議委員会第16回会合は、10月25日午前11時30分から、日本側三木外務大臣、田中総務長官、米国側ジョンソン駐日米  
国大使、アングー高等弁務官出席の下に、外務省で開かれた。
2. アングー高等弁務官より、諮問委員会の活動に関する報告を行なった。高等弁務官はその報告の中で、日米琉3政府代表並びにその有能なスタッフの積極的努力により、すでに27件のほるきわめて有益な勧告をうけたことに満足している旨述べ、日本政府の諮問委員会に対する積極的協力に感謝の意を表した。

これに対し三木外務大臣より、日本政府としても、諮問委員会の活動に十分満足している旨述べるとともに、その活動に対して示されたアングー高等弁務官をはじめとする米琉当局者の理解と協力を多としている旨述べた。

ジョンソン大使より、米国政府としても、諮問委員会の活動を通じて、昨年の佐藤・ジョンソン会談において合意された重要な政策目標の一つである沖縄と本土との一体化の強力な促進がはかられていることを喜んでいと述べた。

3. 昭和44会計年度日本政府対沖縄援助に関して、米側より、目下検討中の米側提案の主要項目を説明した。この説明の中で、米側は、高等弁務官に対する諮問委員会より行なわれた医療保険、生活保護及び各種年金制度の拡充に関する勧告に特に言及し、日本政府が来年度以降の援助において、その実現のために好意的配慮を払ってくれるよう要望した。

これに対し日本側より、日本政府としても、諮問委員会の成果を基礎とし、また、日本政府一体化調査団の調査結果等を考慮しつつ、今後一体化施策を推進する考えであり、その意味において米側の意向を十分斟酌し、かつ、日本の財政事情を勘案して、来年度の沖縄向援助を策定したいと述べた。

日本側は、沖縄住民の生活の安定と向上を確保するために、来年度の沖縄向援助計画において、保健及び社会福祉諸計画の支援のために、特に考慮を払う旨言明した。

電信課長  
久  
相

機密表示 (極秘・秘の未印) <b>平又</b>	符号表示 暗 略 <b>平</b>	※ 総第 <b>49512</b> 号
	※ 合第 <b>4293</b> 号	※ 昭和 年 <b>49513</b> 時 分 秒 43- 10- 25 20- 23
	大至急・ <b>至急</b> ・普通・LTF	※ 発電係 <b>湯</b>

(※印欄内は電信課記入)

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主管 <b>アメリカ局長 } 参事官 北米課長 <b>山</b></b>	主管局部課 (室) 名 <b>アメリカ局北米課</b> 起案 昭和 <b>43</b> 年 <b>10</b> 月 <b>25</b> 日 起案者 <b>山</b> 電話番号 <b>672</b>
------------------------------------------------	-------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

協議先 **M**

在 **那覇** **高瀬** 大使 ~~臨時代理大使~~  
**山** 日本領事 **山** 代理 **三木** 大臣 発

電 在 大 使 臨時代理大使  
報 在 総領事 代 理 あて

件名 **沖繩以南の日本協定条約令第16回令令  
(新印装束)**

**統覧令令 429/ 8 31 巻 2**

25 **104**  
**山**  
**山**

(昭和四二・七一 改正)

~~Joint Press Release on the 16th Meeting  
of the Consultative Committee on Okinawa~~

~~October 25, 1968~~

2  
1. The Sixteenth Meeting of the Consultative Committee on Okinawa was held at the Ministry of Foreign Affairs at 11:30 on October 25, 1968. Foreign Minister Takeo Miki and Director-General Tatsuo Tanaka of the Prime Minister's Office represented the Japanese Government and Ambassador U. Alexis Johnson and General Unger, the High Commissioner of the Ryukyu Islands, represented the United States Government.

2. High Commissioner Unger reported to the Committee on the activities of the Advisory Committee. In his report, the High Commissioner stated with satisfaction that he had already received 27 highly useful recommendations, thanks to the strenuous efforts on the part of the representatives of the three Governments concerned and their able staff. He further expressed his appreciation of the positive cooperation which has been given the Committee by the Japanese Government. S/N 5/1103

Foreign Minister Miki stated that the Japanese Government is also well satisfied with the work of the Advisory Committee and that it highly appreciates the understanding and cooperation

extended



<sup>19</sup> extended to the activities of the Advisory Committee by General  
<sup>20</sup> Unger and the American and Ryukyuan authorities concerned. S/NSHoo

<sup>21</sup> Ambassador Johnson stated that the United States Govern-  
<sup>22</sup> ment is pleased to see that the promotion of "Ittaika" between  
<sup>23</sup> Okinawa and Japan proper, one of the important policy objectives  
<sup>24</sup> agreed upon in last year's meeting between Prime Minister Sato  
<sup>25</sup> and President Johnson, has been vigorously carried forward  
<sup>26</sup> through the activities of the Advisory Committee.

3. <sup>27</sup> With respect to the Japanese Government aid to Okinawa  
for the Japanese fiscal year <sup>28</sup> 1969, the United States side gave an  
<sup>29</sup> explanation of the principal items of the draft proposal which  
<sup>30</sup> it now has under consideration. In the course of this explanation,  
<sup>31</sup> the United States side referred particularly to the recom-  
<sup>32</sup> mendations recently made by the Advisory Committee to the High  
<sup>33</sup> Commissioner on the expansion and improvement of the medical  
<sup>34</sup> insurance system, the daily life security program and pension  
<sup>35</sup> programs, and requested that the Japanese Government give  
<sup>36</sup> favorable consideration in its aid program for the next fiscal  
<sup>37</sup> year and thereafter for the realization of these health and  
<sup>38</sup> welfare programs. S/NSHoo

<sup>39</sup> In reply to these representations, the Japanese side  
stated that the Japanese Government intends to promote "Ittaika"  
<sup>40</sup> measures.

measures henceforth on the basis of the work of the Advisory  
Committee and taking into consideration the findings of the  
Japanese Government "Ittaika" Survey Team and other available  
information, and that it would formulate its aid program for the  
next fiscal year, in the light of these considerations, taking  
into full account the views of the United States side and the  
financial situation of Japan.

The Japanese side affirmed that, in order to secure to  
the people of Okinawa a stable and improved livelihood, it will  
give particular consideration to support of the health and social  
welfare programs in its aid program for the next fiscal year.

MIKI

03)

電信課長 29 秘	機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 (略) 平	※ 総第 49120 号
	秘 無期限	※ 第 1991 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 秒 43-10-23 11-53
大至急・(至急) 普通・LTF		※ 発電係 (印)	

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長代	主管局部課 (室) 名 アメリカ局北米課 起案 昭和43年10月23日 起案者 有田 電話番号 672
---------------------------------------------	------------------------------	--------------------------------------------------------------

協議先

在 米 下田 大使 臨時代理大使  
総領事 代理 あて 三木 大臣 発

電 報 在 大使 臨時代理大使  
報 総領事 代理 あて

件名 沖繩以南の日本協議委員会第16回会合

1. 沖繩以南の日本協議委員会第16回  
会合は、10月25日午後11時から本館に  
あり、本館長(三木)及び中野事務官、  
アメリカ高等弁務官、  
米側 220017 大使出席の下に、沖繩以北  
の北米側、23日迄の旨の協議が行

23 102

空  
清



(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二・七一改正)

GB-

白く。

2. ~~様~~ 様 題 比 (1) 諮問委員会の活動に

関する高等教育の報告 (2) 昭和44年

合計計費 日本政府計中絶援給に關する  
(数字その他詳細説明は行方表参照)

米側提案を各項目説明に取上げよう。

二、是は米側意見に對し、念の如し。

(3)

電信課長 印	機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 (平)	※ 総第 号
	平 文	※ 第 2004 号	※ 昭和 43 年 10 月 25 日 14:53
大至急・至急・普通・LTF			※ 発電係 小枝

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米課長代	主管局部課(室)名 アメリカ局北米課 起案 昭和43年10月25日 起案者 有田 電話番号 672
	協議先	
在 米 下田	大使 臨時代理大使 総領事 代理	あて 三木 大臣 発
電 報	在 大使 臨時代理大使 総領事 代理	あて
件名 沖経以南の3日米協議委員会の16回会合 (新印発表)		
経電第1991号に關し		
25日本省の中心に沖経以南の3日米協議委員会の16回会合を催し、終了後		
別電第2005号 <del>第2005号</del> の通り		
新印発表を行つた。(兼発表文の付)		

25 106



写 済

25日付一般情報第248号の経電第2005号に、その他関係資料を添付 (3)

(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二・七一改正)

GB-

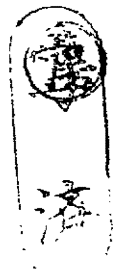
電信課長 ①	機密表示 (極秘・秘の未印)	符号表示 暗 略 (平) ※	総第 49453 号
	平文	※ 第 2005 号	※昭和 年 月 日 時 分 秒 43 10 25 10 52
大至急・ <u>至急</u> ・普通・LTF			※ 発電係 小村 友

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管	主管局部課 (室) 名
	アメリカ局長 参事官 北米課長代	アメリカ局北米課 起案 昭和 43 年 10 月 25 日 起案者 有地 電話番号 672
協議先		
大使 臨時代理大使 在 米 下田 あて 三木 大臣 発 総領事 代理		
電 報 在 大使 臨時代理大使 あて 総領事 代理		
件名 沖縄以南13日米協定署名命令16回命令 (新南築志)		
米北往電分 2004 号 別電		

(昭和四二・七・一 改正)

25 107



秘  
発表まで

~~沖縄に関する日米協議委員会  
第16回会合に関する共同新  
聞発表~~

~~(案)~~

~~昭和43年10月25日~~

1. 沖縄に関する日米協議委員会第16回会合は、  
10月25日午前11時30分から、日本側三木外務  
大臣、田中総務長官、米国側ジョンソン駐日米  
国大使、アンガー高等弁務官出席の下に、外務  
省で開かれた。

2. アンガー高等弁務官より、諮問委員会の活動  
に関する報告を行なった。高等弁務官はその報  
告の中で、日米琉3政府代表並びにその有能な  
スタッフの積極的努力により、すでに27件に  
のぼるきわめて有益な勧告をうけたことに満足  
している旨述べ、日本政府の諮問委員会に対す  
る積極的協力に感謝の意を表した。

これに対し三木外務大臣より、日本政府とし  
ても、諮問委員会の活動に十分満足している旨  
述べるとともに、その活動に対して示されたア  
ンガー高等弁務官をはじめとする米琉当局者の  
理解と協力を多としている旨述べた。

ジョンソン大使より、米国政府としても、諮問委員会の活動を遅じて、昨年の佐藤・ジョンソン会談において合意された重要な政策目標の一つである沖縄と本土との一体化の強力な促進がはかられていることを喜んでいると述べた。

3. 昭和44会計年度日本政府対沖縄援助に関して、米側より、目下検討中の米側提案の主要項目を説明した。この説明の中で、米側は、高等弁務官に対する諮問委員会より行なわれた医療保険、生活保護及び各種年金制度の拡充に関する勧告に特に言及し、日本政府が来年度以降の援助において、その実現のために好意的配慮を払ってくれるよう要望した。

これに対し日本側より、日本政府としても、諮問委員会の成果を基礎とし、また、日本政府一体化調査団の調査結果等を考慮しつつ、今後一体化施策を推進する考えであり、その意味において米側の意向を十分斟酌し、かつ、日本の財政事情を勘案して、来年度の沖縄向援助を策定したいと述べた。



日本側は、沖縄住民の生活の安定と向上を確保するために、来年度の沖縄向援助計画において、保健及び社会福祉諸計画の支援のために、特に考慮を払う旨言明した。

秘密表示 (朱印)

秘  
 無期限

部 政 指 示	発信用	執務用	備 考
主 値	1	1	2
付属 発信渡し			
その手子			
(別件北米交渉件等)			

発 送 日	昭和43年10月28日
処 理 日	
発 信 手 続	タイプ
校 査	山本

文書 公 信 案

公 信 番 号 北 第 1605 号 公 信 日 付 昭和43年10月28日

夫 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 長	主 管 アメリカ局長 参事官 北米課長	起 案 昭和43年10月28日  3 起 案 者 東 原 電話番号 672
----------------------------------------------	------------------------------	------------------------------------------------

協 議 先

受 信 者 在米下田大使	発 信 者 外務大臣
-----------------	---------------

写 送 付 先 (希 望 発 送 日)  
10 月 28 日

件 名 沖縄 関係 日米 協 試 委 員 会  
関 係 資 料 送 付

GA-2 28 155 外務省 回覧番号

米北才1605号

昭和43年10月28日

在米大使殿

外務大臣

沖縄に關する日米協談委員会

関係資料送付

往電才1908号および才2004号に關し

沖縄に關する日米協談委員会才15回および  
才16回令合関係の下記資料各1部別添

送付する。なお、下記2(2)の高等弁務官

報告は会議終了後米側に公表され、折

2(6)の諮問委員会、活動に關する<sup>同筆直會</sup>報告書

の報告書は追って同委員会より公表される予定（他の文書は不公表）。

### 記

#### 1. 才15回会合関係

- (1) 議長田×七（本大臣発言を含む）
- (2) 田中総務長官発言（国政参加）
- (3) ションソン大使発言（国政参加）
- (4) 田中総務長官発言（台同被害）
- (5) ションソン大使発言（台同被害）

#### 2. 才16回会合関係

- (1) 議長田×七（本大臣発言を含む）
- (2) 日米琉語同委員会の活動に関する

#### アンガー 高等弁務官報告

- (3) ションソン大使発言（アンガー報告）
- (4) ションソン大使発言（昭和44年度日中

政府对冲绳援助に关する米側提案草案  
主要項目説明)

(5) 田中総務長官発言(昭和44年度日本  
政府对冲绳援助等)

(6) 日米琉球諮問委員会の活動に关する同  
委員会報告書(米側別口会議提出資料)

付属空便(行)

~~付属添付~~

秘密表示 (朱印)

**秘**  
無期限

部数指示	発信用	執務用	備考
主 信	2	1	3
付属發信渡			
局	その子子 (別件起事者付)		

發送日 昭和43年10月29日  
 処理日  
 発信  タイプ 検査



公 信 案 (分類)

公信 番号	米北合 第 3284 号	公信 日付	昭和43年10月28日
大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主 管 アメリカ局長 参事官 北米課長	起案 昭和43年10月28日  3 起案者 東原 電話番号 672	
協議先			
受領者 日米琉諮問委員会日本政府代表 日本政府仲親事務所長		発信者 外務大臣	
写送付先		(希望發送日) 10月28日	
件 名 仲親に關する日米協談委員会 關係資料送付			

GA-2

28 160

外務省

回覧番号

米北合第3244号

昭和43年10月28日

外務大臣

沖縄に送る日本協評委員会

関係資料送付

往電合才4047号および合才4291号に

関し、沖縄に送る日米協評委員会才15回

および才16回令合関係の下記資料各

一部別添送付する。なお、下記2(2)の高

等年勢官報告は全評終了後米側に公表

され、また2(6)の諮問委員会の活動に付

特別委員会報告書

は、この委員会上より公表される予定  
(他の文書は不公表)。

記

1. 第15回委員会関係

- (1) 調査用メモ(本大臣発言を含む)
- (2) 田中総務長官発言(国政参加)
- (3) ジョンスン大使発言(国政参加)
- (4) 田中総務長官発言(台風被害)
- (5) ジョンスン大使発言(台風被害)

2. 第16回委員会関係

- (1) 調査用メモ(本大臣発言を含む)
- (2) 日米琉球問題委員会、活動に際するアンカー

高等弁務官報告

- (3) ジョンスン大使発言(アンカー報告)
- (4) ジョンスン大使発言(昭和44年度日本



政府対冲况援助に关する米側提案草案  
主要項目説明)

(5) 田中総務長官発言(昭和44年度日本  
政府対冲况援助等)

(6) 日米琉諮問委員会活動に关する  
同委員会報告書(米側所合議提出資料)

付属空便(行)

本信送付先：日米琉諮問委員会日本  
政府代表 日本政府  
冲况事務局長